

JIS

無機多孔質保温材

JIS A 9510 : 2009

(JTIA/JSA)

平成 21 年 3 月 20 日 改正

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本工業標準調査会標準部会 建築技術専門委員会 構成表

	氏名	所属
(委員長)	菅原進一	東京理科大学(東京大学名誉教授)
(委員)	阿部隆	社団法人日本鉄鋼連盟
	黒木勝一	財団法人建材試験センター
	櫻井誠二	断熱・保温規格協議会
	鈴木千輝	国土交通省
	立山徳子	社団法人日本消費生活アドバイザー・コンサルタント協会
	富田育男	社団法人日本建材・住宅設備産業協会
	林央	独立行政法人理化学研究所
	松井勇	日本大学
	村上周三	独立行政法人建築研究所
	矢代嘉郎	社団法人建築業協会
	渡邊靖司	独立行政法人住宅金融支援機構
(専門委員)	野原慈久	財団法人日本規格協会

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：昭和 30.9.22 改正：平成 21.3.20

官 報 公 示：平成 21.3.23

原 案 作 成 者：日本保温保冷工業協会

(〒111-0053 東京都台東区浅草橋 1-10-7 信成ビル TEL 03-3865-0785)

財団法人日本規格協会

(〒107-8440 東京都港区赤坂 4-1-24 TEL 03-5770-1571)

審 議 部 会：日本工業標準調査会 標準部会 (部会長 二瓶 好正)

審議専門委員会：建築技術専門委員会 (委員長 菅原 進一)

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者又は経済産業省産業技術環境局 基準認証ユニット産業基盤標準化推進室(〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1)にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第 15 条の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

目 次

	ページ
1 適用範囲	1
2 引用規格	1
3 用語及び定義	1
4 種類	2
4.1 形状による区分	2
4.2 材質, 等級, 密度及び使用温度による区分	2
5 品質	2
5.1 外観	2
5.2 特性	2
5.3 寸法及び許容差	4
6 試験	5
6.1 試験場所の状態	5
6.2 試験体	5
6.3 数値の丸め方	6
6.4 寸法の測定	6
6.5 密度試験	7
6.6 曲げ強さ試験	7
6.7 圧縮強さ試験	9
6.8 線収縮率試験	10
6.9 はっ水度試験	10
6.10 熱伝導率試験	11
7 検査	12
8 製品の呼び方	12
9 表示	13
解 説	14